

USHIO

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

ウシオ電機株式会社

2019年10月31日

<免責事項>本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

*2020年3月期 = FY2019

FY2019 1 H（実績）：

前年同期並み に推移した理由について

FY2019 通期（予想）：

通期公表値は据え置き とする理由について

I. FY2019 2Q 業績概況

II. FY2019 今後の見通し

III. トピックス

IV. 参考資料

売上高 : 820億円 (前年同期比▲5億円、▲0.7%)

対通期公表値 進捗率 48.2%

減収：【光源】 関連市況の低迷 及び 固体光源化によるランプ需要減少

増収：【装置_映像】 R G B プロジェクター販売拡大、【装置_光学】 液晶関連装置増加

営業利益 : 48億円 (前年同期比▲4億円、▲9.2%)

対通期公表値 進捗率 48.6%

減益：【光源】 収益性が悪化、【装置_光学】 開発投資増加 及び 製品ミックス変化

増益：【装置_映像】 増収 及び 構造改革実行により収益性が改善

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : 30億円 (前年同期比▲4億円、▲13.8%)

対通期公表値 進捗率 26.3%

※為替平均レート (FY19_1H) : 1USドル=109円

売上高・損益

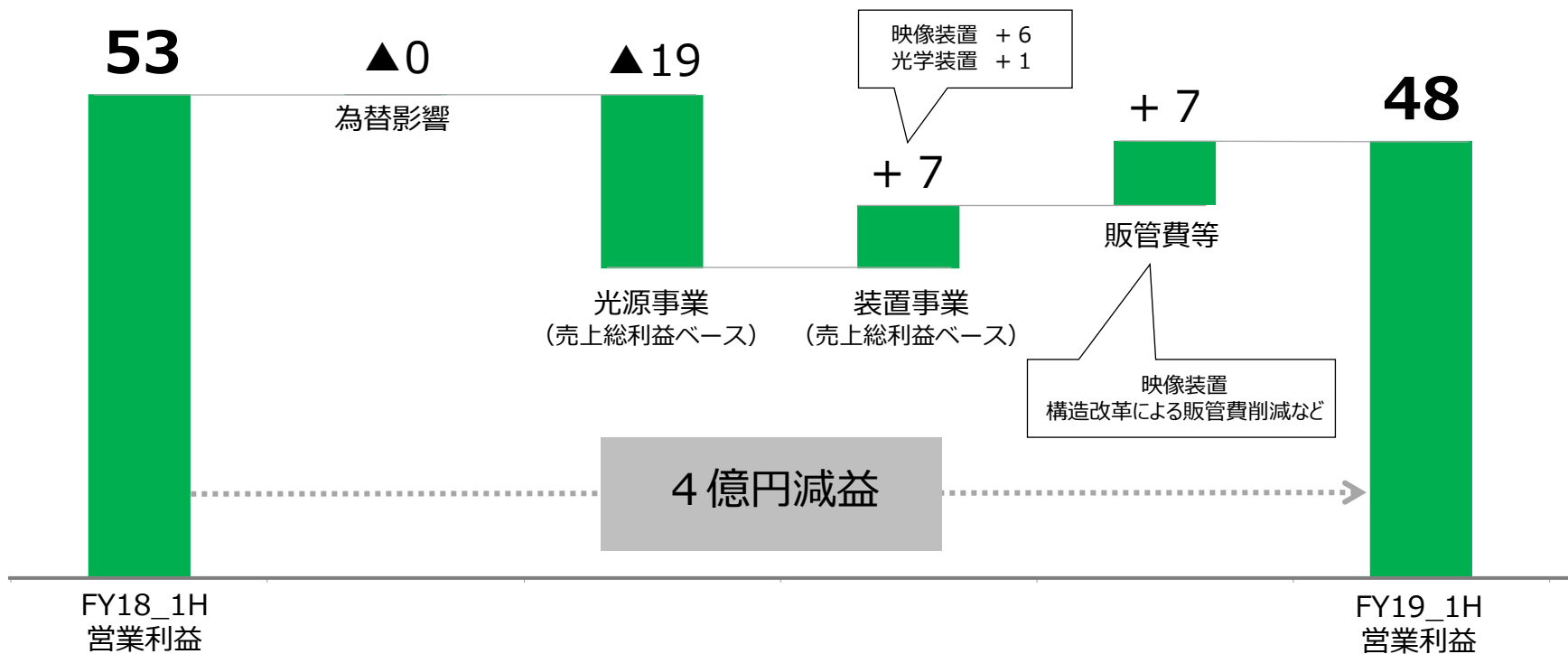
単位：億円		FY18 1H	FY19 1H	前年同期比	
				増減	%
売上高		826	820	▲5	▲0.7
営業利益		53	48	▲4	▲9.2
営業利益率(%)		6.5	5.9	▲0.6P	—
経常利益		72	58	▲13	▲18.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益		35	30	▲4	▲13.8
EPS (円)		27.46	24.41	▲3.1	▲11.1
為替レート (円)	USD	109	109	▲0	-
	EUR	130	122	▲8	-

為替感応度：1円変動による影響額（通期）

	売上高	営業利益
対USD	約10億円	約1.5億円

前年同期比 営業利益増減分析

単位：億円



注：「光源事業（売上総利益ベース）」～「販管費等」の要因は、「為替影響」を除いた金額。

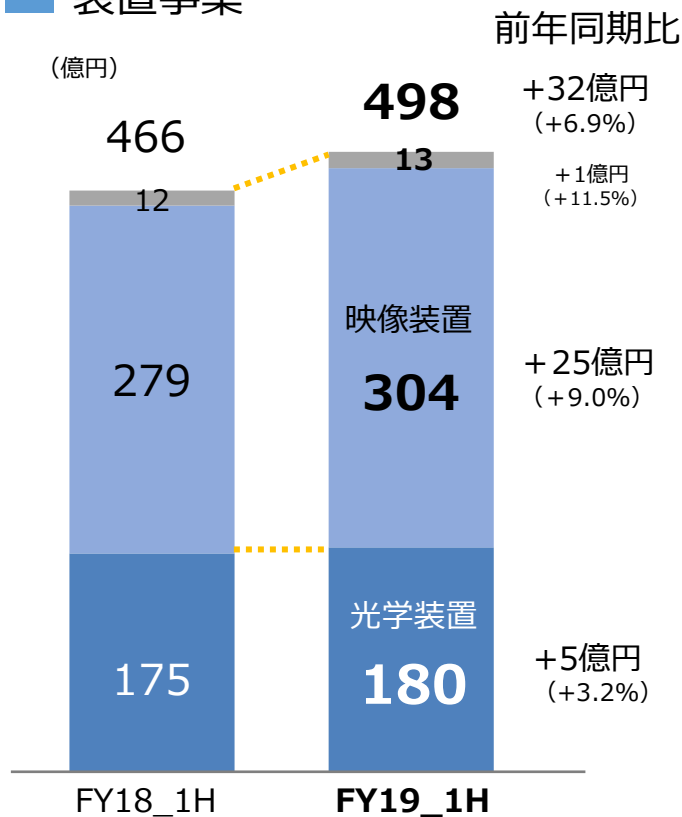
セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

単位：億円		FY18 1H	FY19 1H	前年同期比	
				増減	%
装置事業	売上高	466	498	+32	+6.9
	営業利益	1	10	+8	+451.0
	営業利益率 (%)	0.4	2.1	+1.7P	-
光源事業	売上高	345	304	▲40	▲11.8
	営業利益	48	36	▲12	▲25.7
	営業利益率 (%)	14.1	11.9	▲2.2P	-
その他	売上高	14	17	+2	+19.9
	営業利益	0	0	▲0	▲61.2
	営業利益率 (%)	3.3	1.1	▲2.2P	-
全社・消去	営業利益	2	1	▲0	▲22.2

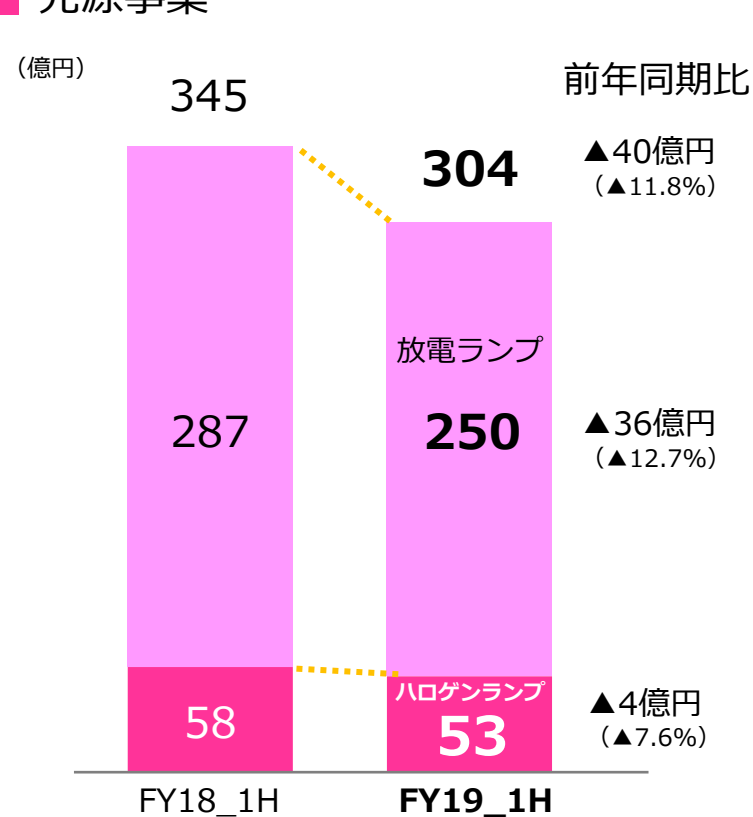
注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

セグメント別売上高 概況

■ 装置事業



■ 光源事業



注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

事業環境 および セグメント別売上高 概略

市場	事業環境 (FY19_1H時点)	装置事業 (前年同期比： ■ 光学装置 +3.2%、■ 映像装置 +9.0%)	光源事業 (前年同期比： ■ 放電ランプ▲12.7%、■ ハロゲンランプ▲7.6%)
エレクトロニクス分野	半導体・電子部品関連市場 ・電子デバイス需要は堅調（スマートフォン、車載向け等） ・半導体及びプリント基板は投資・稼働ともに低調 ・次世代パッケージ向け新規需要が増加	■ 光_UV装置：▲20% ・前年同期2Qに案件が集中 ・COF向けが増加も、電子部品向けは減少	■ 放_UVランプ：▲17% ・大型液晶パネル向けは堅調 ・中小型FPD・半導体・プリント基板向けは低調 ■ ハ_その他（ヒーターランプ等）：▲12% ・半導体向けヒーターランプが低調
	FPD関連市場 ・中国での大型液晶パネル投資が継続 ・中小型液晶パネルの稼働は低調 ・有機ELパネルが投資抑制・稼働低調、今後は回復傾向	■ 光_キュア装置：+73% ・大型パネル向け液晶関連装置が増加 ・光配向装置の販売が増加	
ビジュアルイメージング分野	シネマ分野 ・映画館新設数は鈍化 ・固体光源（レーザー）プロジェクター採用が拡大	■ 映_シネマ：+18% ・RGBレーザープロジェクター販売が拡大	■ 放_シネマ用ランプ：▲19% ・競争激化により単価が下落 ・長時間使用が拡大
	一般映像分野 ・映像機器需要は堅調 ・固体光源（レーザー）プロジェクター採用が拡大	■ 映_一般映像：+0% ・RGBレーザープロジェクター販売が拡大 ・売却事業の売上分が減少	■ 放_データプロジェクタ用ランプ：▲15% ・固体光源化によりランプ需要が減少
	OA分野 ・OA機器需要は鈍化	-	■ ハ_OA用ランプ：+0% ・高付加価値な環境対応ランプが増加
共通	米中貿易摩擦による影響		1Hの影響は軽微

- I. FY2019 2Q 業績概況
- II. FY2019 今後の見通し
- III. トピックス
- IV. 参考資料

変更なし

単位：億円	FY19 1 H	FY19 通期公表値	進捗率 (%)
売上高	820	1,700	48.2
営業利益	48	100	48.6
営業利益率 (%)	5.9	5.9	-
経常利益	58	120	48.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	115	26.3
EPS (円)	24.41	94.17	25.9
1株当たり配当額 (円)	-	50	-
配当性向 (%)	-	53.1	-
為替レート (円)	USD	109	-
	EUR	122	-

サブセグメント別売上高 進捗率／2Hの動向

単位：億円

		FY19 通期予想	FY19 1 H	進捗率 (%)	2 Hの動向 (矢印は、対1 H)	
売上高	装置事業	映像装置	590	304	51.6	シネマ：大型案件向けRGBレーザープロジェクター販売が高水準を維持 一般映像：アミューズメントパーク向けにRGBレーザープロジェクターが堅調
		光学装置	400	180	45.2	最先端ICパッケージ向け投影露光装置：販売拡大 プリント基板向けDI露光装置：5G等を背景に緩やかに増加 マスク検査用EUV光源：販売増加
		照明装置他	20	13	67.1	
		小計	1,010	498	49.4	
	光源事業	放電ランプ	540	250	46.4	シネマ用ランプ：競争激化が継続し低調 UVランプ：需要は回復傾向も、本格的な回復は来期以降
		ハロゲンランプ	115	53	46.7	OA用途：関連市場は鈍化傾向も、環境対応ランプ増加で堅調 ヒーター用途：半導体市況低迷により低調
		小計	655	304	46.5	
	その他	産業機械他	35	17	48.7	
	合計		1,700	820	48.2	米中貿易摩擦：第4弾発動も、対策実施により影響最小化

構造改革による収益性改善

FY18(通期)

- 中国生産移管による固定費削減
- 不採算事業の整理

FY19(1H)

- 拠点整理による固定費削減
- 生産性向上
- 販管費率維持の徹底

施策

- 中国生産移管は計画通り進捗
- 不採算事業の整理完了
- 拠点統廃合の実施

販売管理費 (対FY18_1H) → **約10%削減**
人員推移 (対FY17年末) → **1割強減**

実績

新製品による売上増加

シネマ

- 仕様未達解消
- RGBプロジェクターのフルラインナップ



あらゆるスクリーンサイズに対応できるRGBレーザープロジェクターのラインナップ

一般映像

- レーザープロジェクターのラインナップ拡充 (RGB, LaPH)



・業界初*コンパクトなRGBレーザープロジェクターをリリース
・高輝度LaPHモデル追加

*自社調べ

主なRGB受注状況

HuaxiaFilm : 200台
Cineworld : 1,000台
Cinema21 : 100台 他

全DCPに占めるRGB割合

FY19_1H: 約**4割** (前年同期: 約1割)

主なRGB受注状況

ドバイ国際博覧会 : 250台 他

全プロジェクターに占めるRGB+LaPH割合

FY19_1H: 約**9割** (前年同期: 約5割)

分割投影露光装置 (UX-5)

製造、販売

(先端パッケージ基板の配線形成)

装置
販売

最先端・次世代パッケージの
需要拡大

パッケージ基板メーカー

チップ実装
サーバー搭載

IoT進展に伴う大容量かつ高速データ処理用
データセンター向けサーバーの需要増加

データセンター市場

年率20%以上成長 (自社調べ)

⇒ 次世代パッケージ基板の採用拡大

● **世界シェア95%** ハイエンドBGA基板露光市場 (自社調べ)



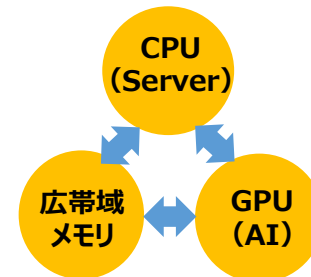
分割投影露光装置 (UX-5)
販売動向

FY19
下期より売上貢献

FY20以降
販売台数拡大

● **UX-5の強み (特長)**

1. 大面積一括投影露光
→ 高生産性、低CoO
2. マスクワーク非接触
→ 歩留まり向上
3. 広い焦点深度
→ プロセスマージン・基板反り対応
4. 高い解像力・重ね合わせ精度
→ 配線ピッチ微細化・プロセスマージン



● **投影露光装置の生産能力を増強 (従来比2倍)**

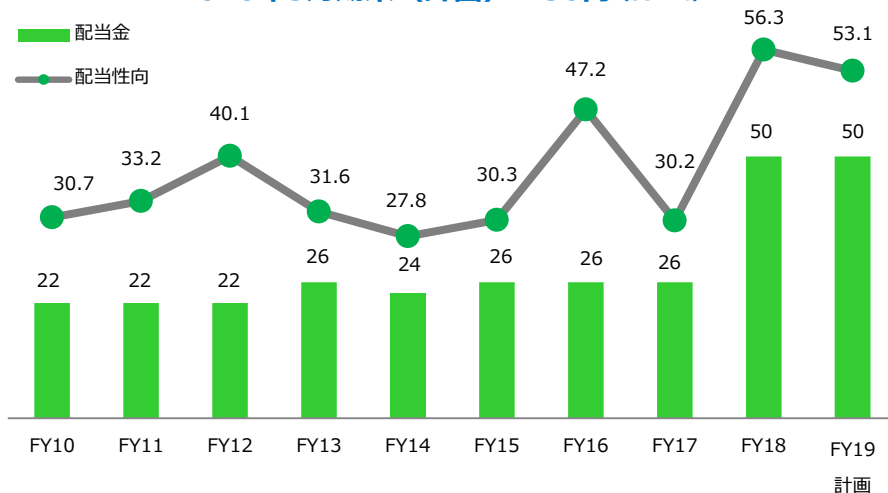


- I. FY2019 2Q 業績概況
- II. FY2019 今後の見通し
- III. トピックス**
- IV. 参考情報

1株当たり配当額及び配当性向

2019年3月期末（実績）：50円（56.3%）

2020年3月期末（計画）：50円（53.1%）



自社株買い

2018年12月20日公表の自社株買いの状況

上限100億円

(800万株)

2018年12月21日～2019年12月20日

進捗状況

(2019年9月30日時点)

買付け金額：79.4億円

進捗率：約80%

株主還元方針

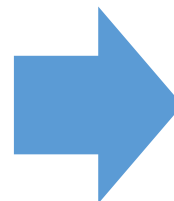
当社は、株主各位に対する利益還元が企業として最重要課題の一つであることを常に認識し、財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主各位に対し**安定的・継続的な利益還元を行うこと**を基本方針としております。**自己株式の取得は機動的に実施**します。保有する自己株式の上限は、**発行済株式総数の5%を目途とし、その部分を上回る自己株式については毎年消却**していきます。

USHIO

次世代半導体量産用EUV光源
開発、生産、販売



マスク検査装置メーカー
研究開発機関



半導体デバイスメーカー等

EUVリソグラフィーの技術開発進展による次世代半導体の量産化ニーズ

検査、開発用光源のニーズ増大

ウシオのEUV光源が貢献

マスク検査用EUV光源需要増加
メンテナンス機会の増加

●ウシオのEUV光源開発の歴史

- 2000年 EUV光源開発開始
- 2001年 EUVA*設立、参画
*極端紫外線露光システム開発機構
- 2013年 リソグラフィ用途から撤退
- 2016年 オランダ研究機関TNOへEUV光源納入
- 2018年 検査用（評価用）初号機納入
- 2019年 量産ライン用初号機納入、検収

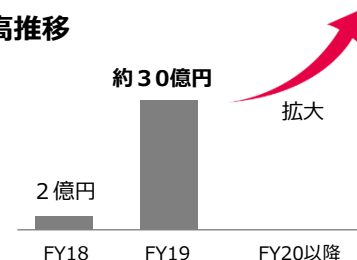
●ウシオの強み

半導体業界での長いビジネス経験

+

長年積み重ねたEUV技術
(コンパクト/高輝度/高出力)

●売上高推移



Ushio Report 2019（統合報告書）発行に関するお知らせ

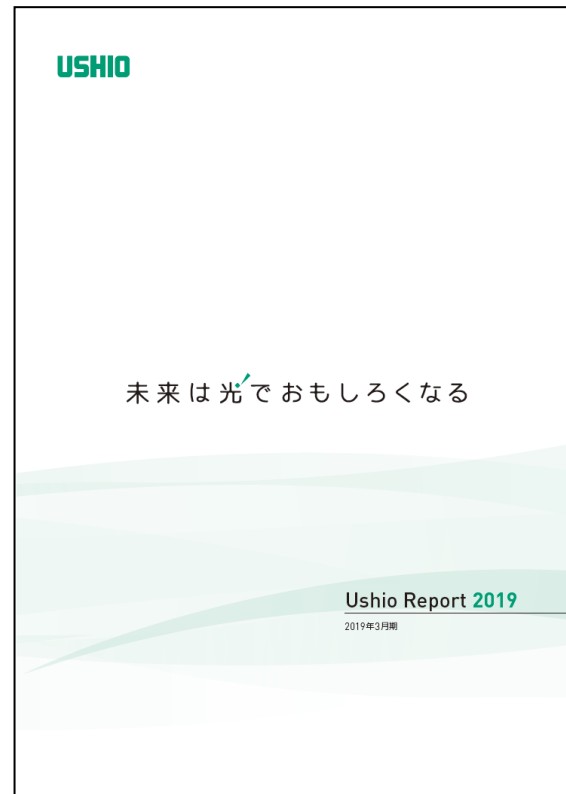
ウシオでは、統合報告書をすべてのステークホルダーの皆さまとの新たなコミュニケーションツールとして、当社が考える「重要性」「簡潔性」および「持続性」に重点をおき制作を行っています。1964年の創業以来、「未来は光でおもしろくなる」をキーワードに、「光」の特性に着目し、「光」をあかりとしてだけでなく、紫外線を化学エネルギーとして、赤外線を熱エネルギーとして利用することで、多くの世の中の技術革新に貢献してきました。「USHIO Report」を通じて、技術革新に貢献している当社のユニークな価値創造モデルと、持続的成長を成し遂げてきたウシオの魅力を感じていただくとともに、今後のウシオの成長に期待をしていただけたら幸いです。

リリース全文：

https://www.ushio.co.jp/documents/ir/library/ushioreport/ushioreport_2019_j.pdf（2019年9月13日発表）



※英語版は11月中旬に発行予定



- I. FY2019 2Q 業績概況
- II. FY2019 今後の見通し
- III. トピックス
- IV. 参考資料**

光源	レーザー		ランプ	
	RGBレーザー	蛍光体レーザー	クセノンランプ	超高圧水銀ランプ
シネマ	 <p>CP4330-RGB CP2320-RGB CP2309-RGB 他</p> <p>明るさ(lm) <40,000</p>	<p>ラインナップなし</p>	 <p>CP2308 他</p> <p>明るさ(lm) <45,000</p>	<p>ラインナップなし</p>
一般映像	 <p>D4K40-RGB</p> <p>明るさ(lm) <40,000</p>	 <p>Crimson GS シリーズ他</p> <p>明るさ(lm) <30,000</p>	 <p>Roadie 他</p> <p>明るさ(lm) <45,000</p>	 <p>Boxer 他</p> <p>明るさ(lm) <30,000</p>
本体価格	★★★★★★	★★	★★	★
本体寿命	★★★★★★	★★★★	★★★★★ (ランプ交換を実施した場合)	★★★★★ (ランプ交換を実施した場合)
色	★★★★★★	★★	★★★	★★

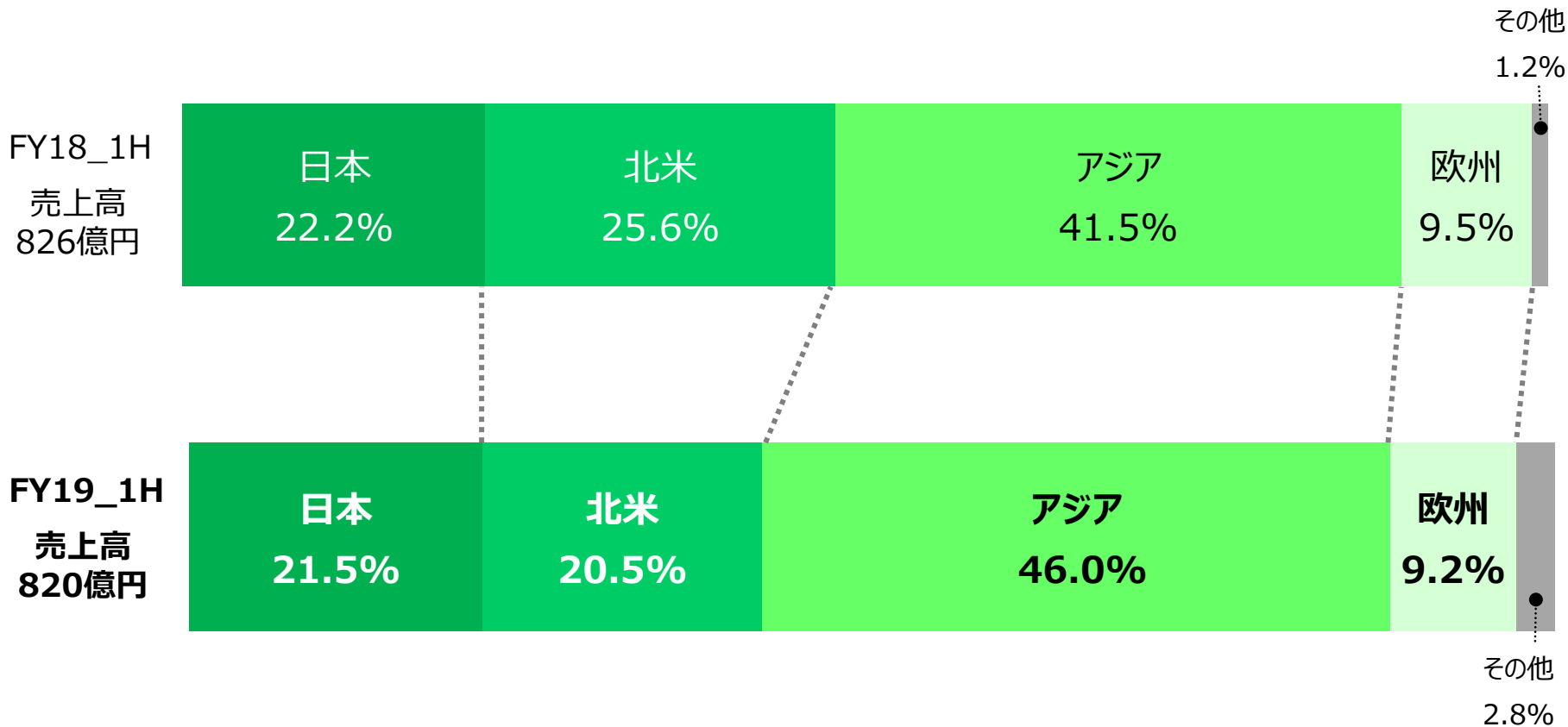
四半期推移 《損益》

単位：億円		FY18				FY19		FY19 2Q - 2Q		FY19 2Q - 1Q	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減	%	増減	%
売上高		399	426	397	427	389	430	+4	+1.0	+41	+10.8
営業利益		25	28	15	16	21	27	▲1	▲3.7	+5	+26.0
営業利益 (%)		6.4	6.6	3.9	3.8	5.5	6.3	▲0.3P	-	+0.8P	-
経常利益		39	32	22	19	29	28	▲3	▲12.0	▲0	▲3.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益		22	12	21	56	12	17	+5	+41.7	+5	+41.4
EPS (円)		17.67	9.79	16.97	44.54	10.02	14.43	+4.64	+47.4	+4.41	+44.0
為替レート (円)	USD	108	111	113	110	111	108	▲3	-	▲3	-
	EUR	130	129	130	126	124	120	▲9	-	▲4	-

四半期推移 《セグメント別損益》

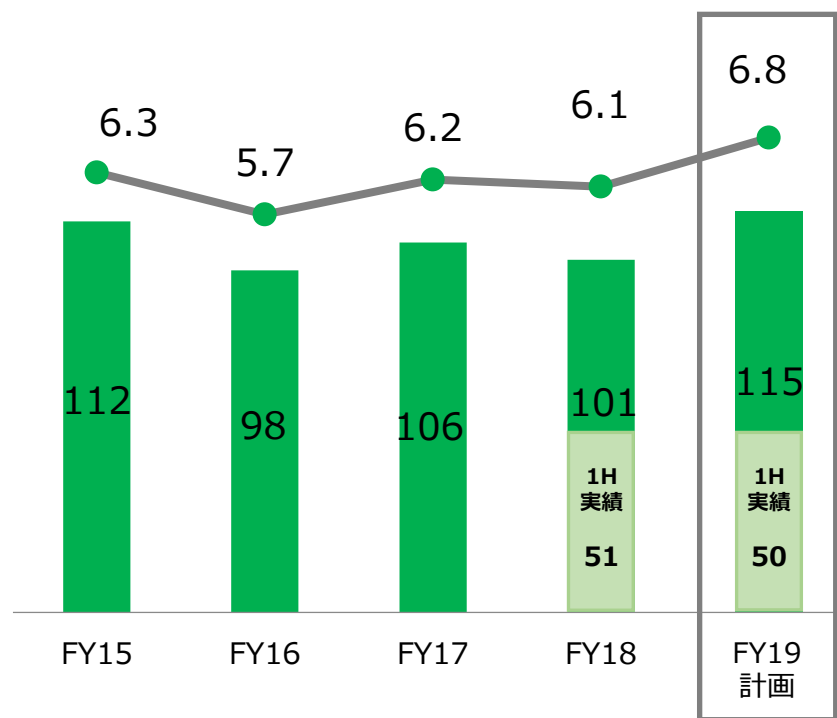
単位：億円	FY18				FY19		FY19 2Q - 2Q		FY19 2Q - 1Q	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減	%	増減	%
装置事業										
売上高	218	248	219	260	227	271	+23	+9.4	+44	+19.6
営業利益	0	1	▲4	▲0	0	9	+7	+426.3	+8	+930.9
営業利益率 (%)	0.0	0.7	▲2.1	▲0.1	0.4	3.5	+2.7P	-	+3.1P	-
光源事業										
売上高	173	172	171	155	154	149	▲22	▲13.1	▲5	▲3.4
営業利益	25	23	18	16	19	16	▲6	▲27.3	▲2	▲13.5
営業利益率 (%)	14.8	13.4	10.8	10.6	12.5	11.2	▲2.2P	-	▲1.3P	-
その他										
売上高	7	6	7	11	7	9	+3	+56.9	+2	+36.9
営業利益	0	0	0	0	0	▲0	▲0	▲100.3	▲0	▲100.4
営業利益率 (%)	3.0	3.6	3.6	2.4	2.5	▲0.0	▲3.6P	-	▲2.5P	-

地域別売上高比率

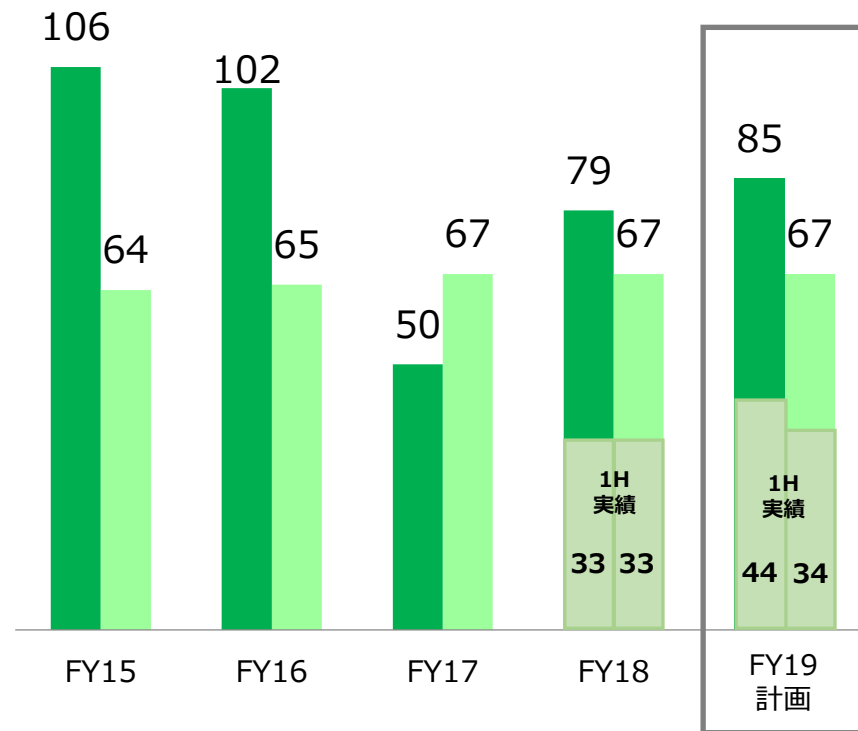


研究開発費／設備投資額・減価償却費

■ 研究開発費（億円）
 — 売上高研究開発費率（%）

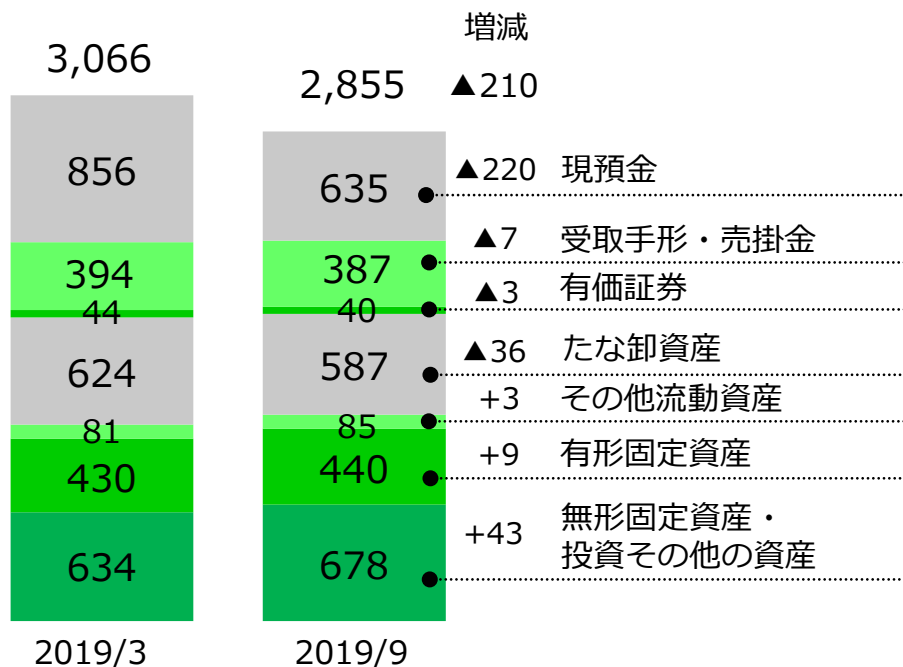


■ 設備投資額（億円）
 ■ 減価償却費（億円）

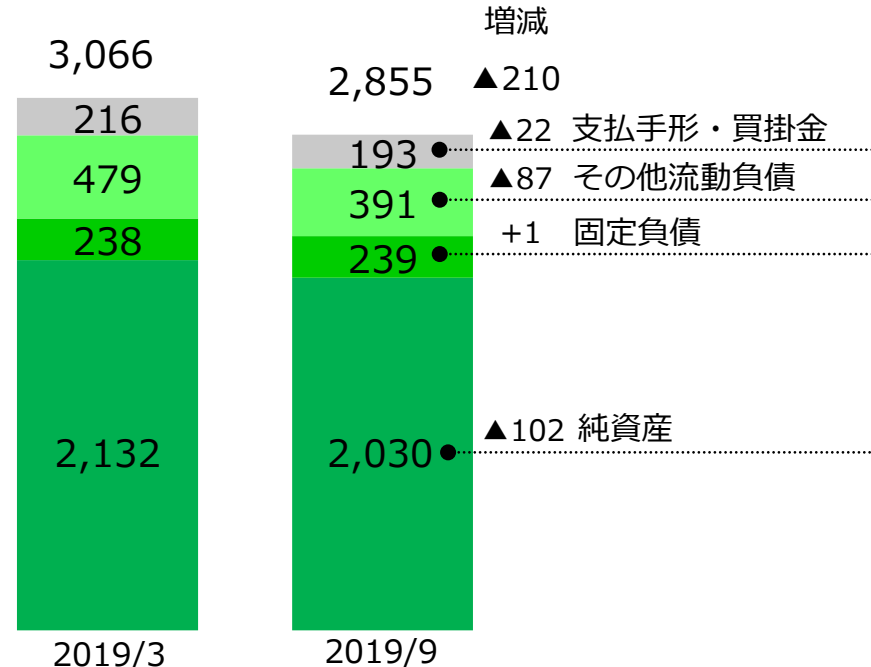


貸借対照表

◆ 資産 (億円)



◆ 負債・純資産 (億円)

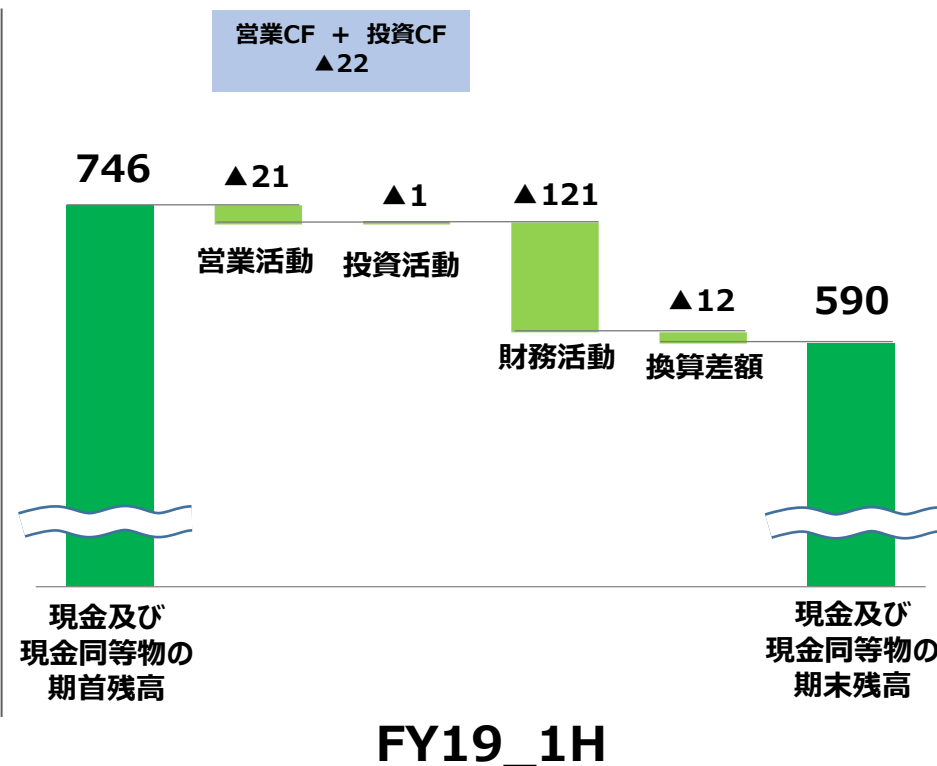
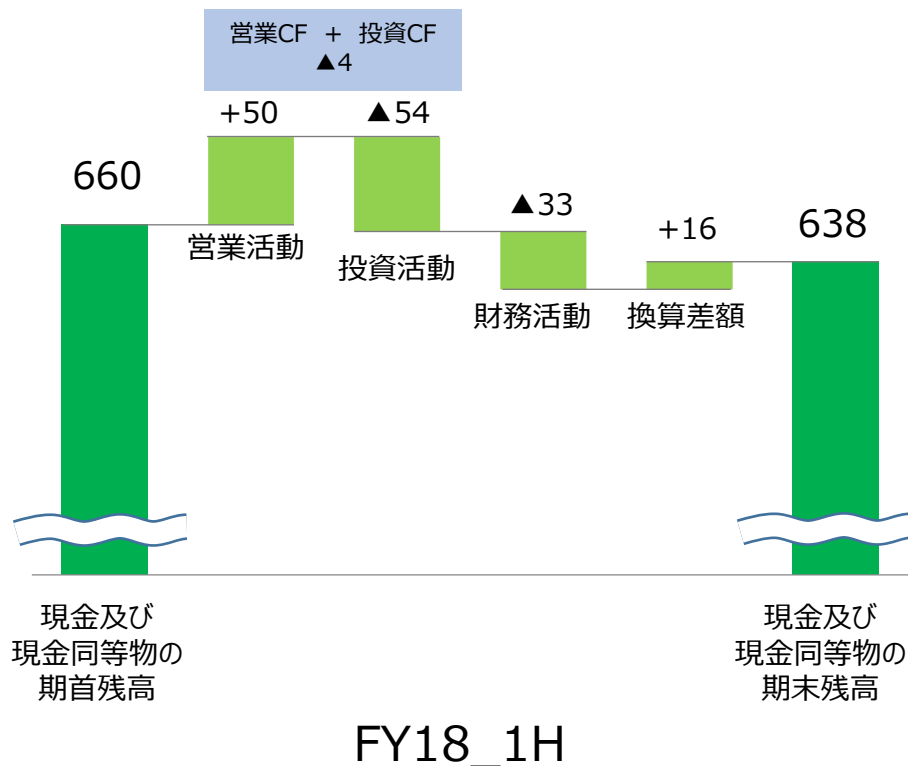


●回転月数 (ヶ月)	2019/3	2019/9
売上債権	3.0	2.9
たな卸資産	4.2	4.4

●自己資本比率 (%)	2019/3	2019/9
	69.5	71.1

キャッシュフロー

単位：億円



AI	Artificial Intelligence	人工知能
BGA	Ball Grid Array	半田ボールを格子状に並べた電極形状をもったパッケージ基板
COF	Chip on Film	フレキシブル基板などのフィルム基板上へICチップを直接実装すること
CoO	Cost of Ownership	導入コストやメンテナンスコストなどを含めた、使用者（オーナー）が負担するコスト
CPU	Central Processing Unit	中央演算処理装置
DI	Direct Imaging	マスク等を使わず、直接描画する露光方式
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
GPU	Graphic Processing Unit	画像を表示するために必要な計算を行う半導体装置
IoT	Internet of Things	モノのインターネット
LaPH	Laser Phosphor	蛍光体レーザー
OA	Office Automation	オフィス内の事務作業の自動化や効率化を図ること
OLED	Organic Light Emitting Diode	有機EL
RGB	Red Green Blue	光の3原色である赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）の頭字語
TNO	The Netherlands Organization of Applied Scientific Research	オランダ応用科学研究機構
UV	Ultraviolet	紫外線
5G	5 th Generation	第5世代移動通信システム

USHIO

本資料に関するお問い合わせ先
ウシオ電機（株）経営企画部
(03) 5657-1007
ir@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/jp/>